

専門研修～認知機能に視点をおいた子どもへの理解と支援～

5月18日(水) 北九州ステップアップメソッド(コグトレ)①

～実践協力校の取組の具体～



実践協力校(木屋瀬小・竹末小・田野浦小・城野小・早鞆中・菊陵中)に、各校の取組の進め方や工夫、校内組織などについて発表していただきました。取組を継続させることで、様々な成果が期待されることが分かりました。

【受講者の感想】(一部抜粋)

各校の取組にてとても魅力を感じました。ポジティブに解決策をたくさん学べる機会をもつことで、子どもは伸び伸びと活動に参加できていました。私もできたことを一緒に喜べるコグトレをしたいと思います。

7月1日(金) 北九州ステップアップメソッド(コグトレ)②

～授業改善や子どもの自立的な学びにつなげる取組の工夫～

実践協力校(竹末小・城野小・早鞆中)に、校内体制や校内研修の取り組み方などについて紹介していただきました。「取組をとおして、子どもへの肯定的な関わりが増え、子どもとのよりよい人間関係を築くことができている」などの話を聞くことができました。

【受講者の感想】(一部抜粋)

「コグトレをツールして活用し、力を伸ばすことが大切」という話には、はっとしました。実践することに重きをおいていた部分があったので、今後はどの力を伸ばしたいかに焦点を当て、適切な課題を選択したいと思います。



7月25日(月)

認知機能に視点をおいた子どもへの理解と支援について

～学習面・社会面・身体面のコグトレを体験的に学ぶ～



広島大学大学院 医系科学研究科 教授の宮口英樹先生と講師の石附智奈美先生をお招きして研修を行いました。

「身体的不器用さを改善するための自分の身体の動かし方」や「物をコントロールする方法」「身体的不器用さに関連するコグトレ課題について」など、すぐに実践に生かせるようなお話をしていただきました。また、新聞紙でコグトレ棒を作成し、実際にコグトレ棒を使ってトレーニングをしました。自分の身体の動きを知り、「ボディイメージを高めるトレーニング」や、物をコントロールして「協調運動の力を向上させるトレーニング」などを体験することができました。

【受講者の感想】(一部抜粋)

- コグトレをただ「させる」だけではなく、どういう目的をもってやるべきなのか教師が考えて活用していく必要があると感じました。
- 実際に実践することで、自分自身が楽しめました。きっと子どもたちも楽しく取り組めると感じました。

